

J A全農杯全国小学生選抜サッカー山形地区大会 実施要項

- 1 趣 旨 日本 of 将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。
- 2 名 称 J A全農杯全国小学生選抜サッカー山形地区大会
- 3 主 催 山形地区サッカー協会
- 4 主 管 山形地区4種委員会
- 5 日 程 2022年7月16日(土)・7月17日(日)
- 6 会 場 山形県総合運動公園第2運動広場(人工芝)
- 7 参加資格
- ①「参加チーム」は、大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会(以下「JFA」)第4種に加盟登録していること。
 - ②上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動しており、小学5年生以下の単一チームで構成されていること。
 - ③「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
 - ④引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上がJFA公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。原則としてJFAの発行した公認指導者ライセンス証(各チームで印刷)(写真付)を持参すること。
※公認指導者ライセンス証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した公認指導者ライセンス証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
 - ⑤「参加チーム」はスポーツ傷害保険等に加入していること。
 - ⑥「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
 - ⑦「参加選手」は、原則としてJFAの発行した加盟チームの選手登録証(各チームで印刷)(写真付)を持参すること。
※選手証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
- ※本大会は「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」(https://www.jfa.jp/about_jfa/guideline.html)、「試合の開催について」及び「新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項」を適用し、開催運営します。各チームはガイドライン等をチーム関係者に周知し遵守の上、参加してください。
- 参加チームは「新型コロナウイルス感染拡大防止対策チェックリスト」1部及び「山形県サッカー協会 大会参加者健康チェック表 チーム用」2部を記入作成し、会場責任者(主管チーム)に提出してください。なお、大会参加者健康チェック表は選手、指導者のほか、会場に入場する保護者等を含めて作成してください。(使用会場において、指定の様式がある場合等は、会場の指示に従うこと。)

8 チーム構成と条件

原則として、引率指導者1名以上3名以下、小学5年生以下の選手16名以上22名以下とする。

試合開始時点で、けが人等が出てプレーできる選手登録人数が15名以下になった場合は失格とする。

9 組み合わせ 別途抽選(2022年6月12日)

10 大会形式

予選リーグ(9チームを3ブロックに分け、リーグ戦により順位を決める。)
決勝リーグ(予選リーグ順位により1位グループ、2位グループ、3位グループに分け、リーグ戦により順位を決める。)1位グループの3チームと2位グループ1位の計4チームに県大会の出場権を与える。

期日 2022年9月3日(土)・4日(日) 山形地区開催予定

※予選及び決勝リーグ順位決定は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち：3点 引分け：1点 負け：0点とする。

但し、勝点と同じ場合は、得失点差・総得点数・当該チーム間の対戦結果・抽選の順序により順位を決定する。

11 競技方法

2021/2022 年度 J F A 「サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」による。但し、以下の項目については特に本大会用として大会規定を定める。

- (1) プレーの時間：36分(12分×3ピリオド)
- (2) インターバル(ピリオド間)：第1ピリオドと第2ピリオド間は選手交代に要する時間のみとし、第2ピリオドと第3ピリオド間は、5分とする。
- (3) エンドの決定：第3ピリオドのサイドはコイントスで決定し、約半分を経過したところでサイドを替える。タイミングは審判にゆだねる。
- (4) 試合の勝者を決定する方法(36分で勝敗が決しない場合)
予選及び決勝リーグ：引分け
- (5) 選手の交代
 - ・競技者の数は、常に8人(うち1人はゴールキーパー)とする。
 - ・第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総替えすること。第3ピリオドは自由。
 - ・第1ピリオド出場予定の8人、第2ピリオド出場予定の8人と、その他交代要員を予め明確にする。
 - ・交代要員含め同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することはできない。

事故・ケガ等で出場困難な選手が発生し、出場可能な選手が11人以下になったときに限り、1試合で3つのピリオドに出場することを認める。

 - ①第1ピリオド
 - ・予め決められた、第1ピリオド出場予定選手が出場する。
 - ・試合中の、事故・けがで交代する場合は、交代要員が出場する。
交代要員：提出したメンバー表に出場印がついていない選手
 - ・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第2ピリオド出場予定の選手が出場できる。
 - ・交代して退いた選手は、再び出場できない。
 - ②第2ピリオド
 - ・予め決められた、第2ピリオド出場予定選手が出場する。
 - ・試合中の、事故・けがで交代する場合は、交代要員が出場する。第1ピリオドで交代して出場していても出場できる。
 - ・交代選手全員が事故・けが等で出場困難となった場合に限り、第1ピリオド出場予定の選手が出場できる。
 - ・交代して退いた選手は、再び出場できない。
 - ③第3ピリオド
 - ・第1・第2の両ピリオドに出場した選手を除き、交代要員含め誰でも出場できる。
 - ・何回・何人でも交代でき、一度退いた選手も再び出場できる。
- (6) 交代の手続

- ・交代は交代ゾーンで行う。
 - ・交代はインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行うことができる。ただし、ゴールキーパーの交代はボールがアウトオブプレーになった時に、主審に通知した上で主審の許可を得て交代を行う。また、交代して退くゴールキーパーは境界線の最も近い地点からフィールドの外にでなければならない。
- (7) テクニカルエリア：設置しない。
- (8) ベンチに入ることができる人数：試合出場選手を含め大会登録選手18名と指導者3名以内（うち1名以上はJFA公認コーチ資格（D級コーチ以上）を有すること）までとする。
- (9) 審判員：
主審1人制とする。補助審判1人を置く。
参加チームは、自チームの責任で帯同審判を準備すること。帯同審判については、原則としてJFAの発行した審判証（各チームで印刷）（写真付）を持参すること。
※審判証とは、JFA WEBシステム「KICKOFF」から出力した審判証を印刷したもの、またはスマートフォンやタブレット、PC等の画面に表示したものを示す。
- (10) アディショナルタイムの表示：実施しない。
- (11) ファウルと不正行為：
 - ・ 警告・退場：通常の競技規則に準ずる。
 - ・ 退場：当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。
 - ・ ベンチ（役員）が、判定に対しての執拗過剰な異議、選手に対して罵声などネガティブなコーチングを行った場合、主審の判断により、警告又は退場とする。それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
 - ・ 大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
 - ・ 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会で決定する。
- (12) 飲水タイム等：
暑熱下において、ピリオドの中程にCooling Break又は飲水タイムを採用する。（本部判断）
- (13) 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数：2名以内
- (14) ピッチサイズ：縦68m×横50mの大きさを使用する。
 ペナルティエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に12m、その地点からゴールラインに直角12m
 ゴールエリア：ゴールライン上、ゴールポスト外側に4m、その地点からゴールラインに直角4m
 センターサークル：半径7m
 ペナルティマーク：8m
 ペナルティアーク：半径7mの半円弧
 フリーキック時の壁との距離：7m
- (15) ゴール：ゴールの内のり縦2.15m、横5m
- (16) ボール：試合球（4号検定球）は持ち寄りとする。
- (17) コーナーキック：ボールがインプレーになるまで相手競技者は、コーナーアークから7m以上離れる。
- (18) グリーンカードの導入
- (19) 競技者のユニフォーム
 ① JFAのユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 ② 本大会出場チームはメンバー表に記載した正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 ③ 選手番号については、参加選手ごとに本大会中、同一のものを使用する。ただし、背番号は1～99番とする。
 ④ ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
 ⑤ ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレー

ヤーと同系色でも良いものとする。

※フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする場合は、ビブス着用でも可とする。
ビブス番号は問わない。

- ⑥主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑦前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショート及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組合せを決定することができる。
- ⑧ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑨アンダーシャツ・ショートおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

(20) その他

ベンチサイドでの応援は禁止とする。

ベンチはコートに向かって、対戦表の左側が左とする。

12 表彰 第1位から第4位のチームを表彰する。

13 参加申込 参加希望チームは、6月12日(日)開催の組み合わせ抽選会に参加すること。ただし、やむを得ない事情があると認められる場合は、山形地区4種委員会による代理抽選を行う。

14 参加費 1チーム3,000円
(別途通知により山形地区4種委員会指定口座に振り込むこと。)

- 15 その他
- ①本大会はメンバー表(4種委員会指定)を使用する。
 - ②メンバー表は7月14日(木)18時まで ya4shu2018@yahoo.co.jp へメールにて提出すること。試合で使用するメンバー表は大会本部が準備する。
《選手変更》
登録選手の変更については、6名を上限に認めることとし、7月16日(土)監督会議終了までに届けること。
 - ③選手証の確認について、7月16日(土)監督会議に選手証を持参し、大会本部から選手証とメンバー表の照合確認を受けること。
 - ④試合で使用するメンバー表は、大会登録選手22名の中から、試合登録選手18名、第1ピリオドと第2ピリオドに出場する選手に○印を付し、試合開始の30分前(第1試合のチームは15分前)まで大会本部に提出すること。
 - ⑤本大会の実施に関して、本大会要項に定めのない事項に関しては大会本部が最終的に決定するものとする。
 - ⑥本大会参加中は試合中に限らず、人道的に不可解な言動や暴力、暴言等があった場合は、大会規律委員にて事実を確認し処分の対象とする。

16 負傷者に対する対応と災害発生に対する措置について

- ①大会中における怪我等については各チームの責任に帰するものとする。
- ②各チームにおいて熱中症予防(対策)に努めて下さい。
- ③災害等が発生した場合は、各会場の災害対応マニュアルに従い避難する。
(サッカー競技規則2021/2022「サッカー活動中の落雷事故の防止対策についての指針」参照)
救急車を呼ぶ場合は、大会本部に連絡の上、会場の山形県総合運動公園(023-655-5900)から呼んでもらうこと。

16 問合せ 山形地区4種委員会 ya4shu2018@yahoo.co.jp

試合の開催について

※基本的にすべての行動での三密は避ける

【会場】

- ▶防球ネット内は、当該試合の監督・コーチ・選手・運営関係者以外立ち入り禁止とする。
- ▶基本的にスタンドの無い会場内（学校等）は、施設の留意事項に従うこととする。
「新しい生活様式」を守りチーム毎まとまっでの観戦や発声はしない。
- ▶各チームは事前に、保護者の方々が密の状況を作らず感情的になって大声で叫ばないように行動してもらえるか、協力の徹底をお願いすること。
- ▶駐車場や施設内では少人数で行動し密を避ける。

【試合開始】

- ▶用具チェック 通常通り試合前に行う。
- ▶セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。

【試合中】

- ▶得点時にハイタッチ、抱擁は極力避ける。
- ▶ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。

【ベンチ内】

- ▶三密を避けた行動を心がける。
- ▶指導者も含めむやみに大声を出さない。
- ▶選手、本部、審判も含め飲料水は、個人で準備し各人の責任において処理をする。

【試合終了後】

- ▶セレモニーは、相手チーム、審判との握手は実施しない。
- ▶ベンチ前（相手・自チーム）での挨拶・握手などは実施しない。
- ▶スタンド・応援席への挨拶も実施しない。速やかにベンチを空け会場から移動する。

新型コロナウイルスの影響下における参加チーム遵守事項

1. チーム代表者は選手及びスタッフが以下の事項に該当する場合、チーム帯同を見合わせること。
 - ・体調が良くない場合。(例：発熱・咳などの症状がある場合)
 - ・同居家族及び身近な人に感染が疑われる方がいる場合。
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
2. 移動時の対応
 - ・出発時に選手及びスタッフに検温及び上記を確認し、チェックリストに記入すること。
 - ・可能な限り、小グループでの移動を心掛け、マスク着用、換気等の対策を行うこと。
3. 会場における感染防止対策
 - ・飲水ボトルを共有しない。(各自個人毎の準備)
 - ・ごみは個人で管理し、収集、持ち帰り処分すること。(密閉すること)
 - ・会場内に準備してある消毒液とポンプ型石鹸で手の消毒をこまめに行うこと。
 - ・プレー中以外はマスク着用のこと。(熱中症が懸念される状況下では、距離を保ったうえでマスクを外す)
 - ・飲みきれなかった水やスポーツドリンクは指定場所に捨てること。
4. 事後対応
 - ・大会後にチームから新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者へ報告すること。